

大きき鶯むしくひに似て、そうたいよくにたり、き色のまゆきつはりと有、かしらに又黄色のすぢあり、諸事うぐひすむしくひ同前、

〔武江産物志〕山鳥類 むしくひ竹の塚、

みれかいり

〔喚子鳥下〕みねかいり ゑがひ 生ゑ壺、あをみ入、

大ききひよ鳥に大ぶり、總身くろくはら白し、黒きふ有、ゆび二本づ、前後へふみわけ、ほと、ぎすににたり、

蚊母鳥

〔物類稱呼動物〕蚊母鳥 か。つ。こ。う。ど。り。俗。か。ん。こ。鳥。共。い。ふ。

甲州にて豆うへどりと云、東國にて豆まき鳥と

もいふ、

〔本朝食鑑林禽〕加津古宇鳥

狀似蟲、喰而帶赤色、腹白無黒斑、其掌亦二前指二後趾、其聲大而圓吭、仲夏後有聲、秋後聲止、與布穀同、故或謂布穀之類也、然掌指非鳩類、而蟲喰類也、每棲山林、不近人家、其味稍好、而不足爲佳也、

〔大和本草山鳥〕蚊母鳥 カ。ツ。コ。ウ。ド。リ。俗。ニ。カ。ン。コ。ド。リ。ト。云。又。カ。ツ。コ。ウ。ド。リ。ト。云。山。中。ノ。木。ニ。止。リ。テ。ナ

ク、其聲カツコウト云、春夏ナク、予○貝原處々民俗ノ言ヲ聞シニ、杜鵑ノ雌也ト云へリ、其聲不喧

閑寂ナリ、其ナク時杜鵑ニ同ク、其形モ似タリ、其音不同トイへドモ、其風韻同シ、虫クヒ鷹ニ似タ

リ、或曰ヨダカノ類ナルベシ、或曰鳩鳩是カツコウ鳥ナルベシ、

〔重修本草綱目啓蒙林禽三十三〕鳩鳩 カ。ツ。コ。ウ。ド。リ。カ。ン。コ。ド。リ。カ。ツ。コ。ド。リ。ム。ギ。ウ。ラ。シ。州。讚

ア。ワ。マ。キ。ド。リ。伯。州。マ。メ。ウ。ヘ。ド。リ。甲。州。マ。メ。マ。キ。ド。リ。東。國。カ。ツ。ボ。ウ。ド。リ。西。國。一。名。粘

鞠 坤雅 搏黍 同上 觸麟 韻府 拙鳥 禽經 護穀 典籍 搏穀 同上 擊穀 事物 看蠶 看火鳥

戒菴 漫筆 郭公鳥 同上 布谷 通雅

此鳥四月時分ニカツコウト鳴ク、聲甚高ク清ミテ山谷ニ震響ス、即郭公ト自呼ブナリ、俗誤テカ